

第2回 地域包括ケア研究会（自院だけじゃない！困難事例を共に考え、共に学ぶ） アンケート集計

（令和7年11月7日）

（28病院43名、発表者4名／47名回答）

1. 事例発表「リハビリテーション科の退院支援 ～ラインワークスを利用した地域連携～」 「回復期リハビリテーション病棟における退院支援—多職種連携による在宅復帰を目指して—」 「当院における入退院支援の課題について」を聞いて

発表者： 医療法人清梁会 高梁中央病院 リハビリテーション科 杉本さとみ 科長
公益財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院
森定令子 看護副主任、村田和美 看護師長
社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 地域医療連携センター 山川恭子 課長

a. 大変勉強になった	38名	c. どちらとも言えない	0名
b. 勉強になった	8名	d. 勉強にならなかった	0名

未記入1

（ご意見・ご感想）

- ・他院の状況がよくわかった。
- ・他院の退院支援の現状が把握できてよかった。
- ・いろいろな取り組みをされていることを知ることができた。
- ・密なカンファレンスや情報共有の必要性がわかった。
- ・他院の退院支援や関わりが聞けてよかった。
- ・各病院の支援体制や特徴・課題がわかり、当院と照合ができた。
- ・当院でも同じような課題があるため、改めて考える機会となった。
- ・同じ悩みや思いを持っている退院支援のあり方を聞くことができ、今後の参考になった。
- ・情報共有の仕方や患者カンファレンスなど、独自にいろいろと考えられており、勉強になった。
- ・各病院の事例が聞けてよかった。入退院支援でのソーシャルハイリスクの人は自分の病院でも多いため、参考になった。
- ・退院支援する中で、どのように情報共有していくのか、いつも悩みながら働いており、必要なこととして、時間を設けて行動を起こすことが大切であると思った。いろいろなやり方があり、正解はないとも思った。まずは思い(想い)の共有は行っていきたい。
- ・他市町村のICTの活用方法などを知ることができてよかった。また、他院の退院支援の流れなども知ることができて、参考にしていきたいと思う。
- ・各病院の取り組みが聞けてよかった。ラインワークスは面白いと思った。
- ・各病院の取り組みがよくわかった。情報共有ツールが市内で共通のものを使えるのはとても便利だと思うが、セキュリティや費用などはどのようにされているのか。どこの病院にも同じような課題があると感じた。

- ・それぞれの病院が様々な課題に取り組まれているのが伝わった。ラインワークスなど参考になることがあった。
- ・具体的な事例が多く、わかりやすく取り組みが伺えてよかった。ICTを活用し当院でも導入を期待する。
- ・スムーズな連絡が取れてよいと思った。
- ・ラインワークスの活用は便利でリアルタイムでやり取りできるのはよい。
- ・FAXや電話以外の情報ツール、積極的に導入されるとよいと感じた。
- ・ラインワークスはとても便利そうで、当院でも導入できたらどんなことができるだろうと考えながら聞いていた。
- ・高梁中央病院で利用されているラインワークスは市内全体で利用されており、便利だと思った。外来患者への運用はどうしているのか気になった。
- ・病院だけでなく、市でラインワークスを利用しているのはとてもよいと思った。まずは病院内でラインワークスが活用できたら、当院でも連携しやすいと思っている。
- ・ラインワークスの利用は役立つと思う。各施設ともにより話が聞けたので役立てたいと思う。
- ・自地域で取り組んでいてラインワークスを実際に利用しているが、他院の利用の仕方がわかってよかった。
- ・内部での情報共有に関し、特に情報管理に特化したツールを模索しているので、ラインワークスや他の媒体を検討したい。実践を通じた話がとても参考になった。
- ・当院でもラインワークスの活用はしているが、外部との連携では使用していないため外部との連携方法について話を聞くことができ、参考になった。
- ・ラインワークスのことを初めて知ったため、日々の業務でとても効率よく利用できそうだった。どの病院でも同じような困難事例に苦慮されていることを知ることができた。
- ・他院の回復期のカンファレンス実施状況を知ることができて、学びになった。
- ・困難事例を毎日のミーティングで検討し、多職種で退院に向けて対応できることは参考になった。
- ・多職種連携の仕方など勉強になった。効率よく支援を進めるためにどうすべきか考えていきたいと思う。
- ・他院の退院支援に向けた取り組みを知ることができてとても参考になった。フローチャートの作成やカンファレンスの開催等、実施できそうなことを参考にさせていただこうと思う。
- ・入退院支援にMSWの関わりが重要で、多職種連携の大変さを感じた。
- ・当院でも経験年数の浅いMSWが多いため、倉敷平成病院のフローチャート式スクリーニングの作成したものが見たい。
- ・発表者の声が小さいので、声のバランスが悪く、棒読みのように残念だった。

2. グループ意見交換へ参加して（46名回答）

【Aグループ】（11名参加）

a. 大変勉強になった	11名	c. どちらとも言えない	0名
b. 勉強になった	0名	d. 勉強にならなかった	0名

（ご意見・ご感想）

- ・色々な地域の状況が聞けてよかった。
- ・様々な困難ケースが共有できてよかった。
- ・様々な地域の方が参加されて参考になった。
- ・共有ができて、地域の特性などがわかってよかった。
- ・他院の取り組み状況が聞けて、今後の参考になった。
- ・退院後のフォローの仕方や県北の人員不足の現状が把握できてよかった。
- ・基本的に高齢や独居の方が多くなっているが、若い方も多くなっていることがわかり、どこも同じようなことがわかった。
- ・普段の業務では退院までの支援が多いが、たくさんの制度ややり取りの仕方を学べてよかった。
- ・どの病院も困難事例を抱えながら、ソーシャルワーカーは頑張っているのだなと思った。

【Bグループ】（11名参加）

a. 大変勉強になった	9名	c. どちらとも言えない	0名
b. 勉強になった	0名	d. 勉強にならなかった	0名

未記入2

（ご意見・ご感想）

- ・楽しく情報共有できて、有難い会になった。
- ・地域ごとに取り組みが違うことを改めて感じた。
- ・看護師のため、MSWの詳しい話が聞けて勉強になった。
- ・金銭的な負担を軽減したいが、家族に対して提案できることを学ぶことができた。
- ・退院支援の進め方など多くの情報を持ち、それを家族へ提供することが大切だと思った。
- ・他地域の病院での事例を聞かせていただき、地域によって違いもあるが、大変参考になった。
- ・退院支援はSWへ任せている部分が多かったなので、サービスの内容や種類、地域の資源を勉強しないといけないと思った。

【Cグループ】（13名参加）

a. 大変勉強になった	13名	c. どちらとも言えない	0名
b. 勉強になった	0名	d. 勉強にならなかった	0名

（ご意見・ご感想）

- ・様々なケースを聞くことができ勉強になった。
- ・重度問題を抱えている人が増えて、みんなで取り組む必要があると思った。
- ・いろいろな人がいて話しやすい場であった。同じことで悩んでいる人が多くいることがわかり安心した。
- ・悩んでいることの根幹は皆さん一緒なんだと思いつつ、直接的な解決策について少なくとも今回のように共有し、考える時間を作ることが大切だと思った。
- ・各病院での事例について困難なことが多く、苦勞されていると思った。いろいろな考えがあるのだと話を聞いて勉強になった。
- ・困難事例で悩んでいることは多かったが、どの病院も同じような困難事例を抱えていて取り組みを共有することができたので、今後の支援に生かしたいと思った。
- ・各病院の抱える問題について情報共有ができ、どこの病院も大変だということがよくわかった。どの問題も身に覚えがあり、一つずつじっくり討論したい気持ちになった。
- ・すさまじい各病院の事例を聞き、相談室の方々の苦勞を知った。経験を披露していただき有難かった。
- ・皆さんの困難事例で、身寄りのない方への支援について悩んでいる支援者の方が多数いて、意見が聞けてよかった。
- ・身寄りのない方の支援等共通する部分が多く、共感できることがたくさんあった。急性期・回復期、それぞれの病院での役割があるので、自院でできることをしていきたいと思った。
- ・身寄りのない家族が異常(精神病)等々、他院でも同じような事例を抱えていることがわかり、安心した。

【Dグループ】（11名参加）

a. 大変勉強になった	7名	c. どちらとも言えない	0名
b. 勉強になった	4名	d. 勉強にならなかった	0名

（ご意見・ご感想）

- ・解決のヒントになった。
- ・良いアドバイスをいただき、大変勉強になった。
- ・同じ悩みが共有でき、アドバイスももらえて良かった。
- ・いろいろな検討事例が聞けてよかった。当院でも取り入れることはしていきたい。

- ・他の病院での対策や対応について、情報共有ができてよかった。
- ・具体的な事例を挙げていただき、助言が交わされて参考になった。
- ・他の病院でも同じような問題を抱えていることを知り、アドバイスも聞けてよかった。
- ・他院の状況を把握し意見交換できたのはよかった。活かせるような内容であり、勉強になった。
- ・自分と同じような思いであったり、皆さん患者やその家族のために支援されていることを感じる事ができた。
- ・県北と県南の社会資源の違いを知ることができ、また同じ悩みや思いを持っている退院支援のあり方も聞くことができ、共有することもできた。
- ・在宅生活することの困難さが増してきている現状を他の方も感じておられるのだと思った。

3. 地域包括ケア研究会で今後、取り上げてほしい内容

- ・ACPについて (2)
- ・身寄りのない方への支援
- ・退院支援における多職種連携について
- ・訪問診療や訪問看護の現場での地域包括ケアの実態
- ・法改定があった後の対策や解析が知りたい。
- ・重層的支援について、地域や医療機関で取り組めること
- ・今回の研修は有意義な話であった。また同じような内容で参加したい。
- ・困難事例に対する解決策などを教えてほしい。後見人や保佐人の方などの意見や事例が聞きたい。
- ・いろいろな事例を通じて法的なこと、法律ではこうなっているということを知りたい。
- ・多職種連携について
- ・身寄りのない患者について
- ・次回も同じ内容を希望

【職 種】

MSW	21
看護師	16
社会福祉士	4
PT	2
OT	1
事務長	1
地域連携課	1
広報	1

【所属施設種別】

病院	47
老健	0